

阪神・淡路大震災から 20 年 KOBE 市民と NGO フォーラム 2015 に集まった人々との議論を元に宣言文を作り上げました。その宣言文を元に、これからの社会を担う若い世代を中心として、今後どうやって生きて行くのかを考えました。そのアクションプランを以下に示します。

一、いのちを大切にしよう

どんなときでもいのちを大切にすることが大前提。自分のいのちだけでなく、まわりのいのちも大切にしよう。

一、気軽にボランティアをしてみよう

何もできないかもしれないけど、何かできるかもしれないと思って続けたら、何でもできることに気づく。

一、できることは自分で、できないことは一緒に

個を尊重し、自分と向き合い、人とつながろう。

一、考えてつながろう、自然ともつながろう

一方的なつながりにならず、常に相手を思い、つながろう。人と人とのつながりだけでなく、自然ともつながろう。

一、声なき声を聴こう

一人ひとりに寄り添って声を聴こう。すべての人に目配り・気配り・心配りをしよう。

一、見えないモノ、見えないコトを考えよう

想像力を働かせて、目の前の人の問題を社会全体に拡げて考えよう。

一、時には“アホ”になってみよう

型にとらわれず、そこそこ自由な発想で行動しよう。そして、相手の意見を尊重し、先入観にとらわれないように聞こう。

一、まずは一步を踏み出して、小さな実践を重ねよう

頭でっかちに考えるのではなく、一步踏み出して体験してみよう。自分にとっての身近な実践を積み重ねよう。

一、「覚悟」を持って生きよう

一步を踏み出すための勇気を持とう。

一、「いま」を大切に生きよう

過去、現在、未来のつながりを想像しよう。